

11/29

中海スポーツパークがオープン



〈市HP〉

施設の
予約方法など
詳細はこちら

誰もがスポーツに親しむことのできる多目的広場として、人工芝グラウンドやクレイコートを整備した「中海スポーツパーク」が上宇部尾町にオープン！オープニングイベントとして、〈第20回「JAしまねく」にびきふるさとふれあいカップキッズサッカー大会〉が開催され、熱戦が繰り広げられました。

松江
まちかど

ダイアリー



松江市PRキャラクター
おまつちえ

小泉八雲とセツの 面白エピソード

その4

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

小泉八雲はなぜ松江に来たの？

日本にやって来るなりアメリカの派遣元出版社と喧嘩別れしたため、八雲はつてを頼って職探しを始めます。一方、当時松江にあった島根県尋常中学校は英語のできる外国人教師を探していました。現職のカナダ人宣教師の授業態度に問題があったからです。英語教師のポストは大分県にも空きがあったようですが、八雲は「神々の国の首都」松江を選択しました。20代から物書きが本職だった八雲にとって、それは40歳にして初めての挑戦でした。



〈島根県尋常中学校(小泉八雲記念館提供)〉

小泉八雲とセツに関する出前講座申込受付中。詳しくはこちら▶



松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
QRコードを読み取って、
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報

松江

目次

- 02 「こどもまんなかアクション」
リレーシンポジウムin松江
- 06 松江まちかどダイアリー／小泉八雲とセツの面白エピソード
- 07 松江市長 上定昭仁とおまつちえの今年も「上を向いていこう」／町自連だより
- 08 食べごろ松江／シリーズ松江の文化力×未来
- 09 マイレポート／松江市PRキャラクター「おまつちえ」新情報
- 10 8年4月から市有施設(29施設)の使用料金が変わります
- 12 「住民税(市県民税)申告」へ早めの準備をお願いします
- 13 マイナンバーカード署名用電子証明書／「第3次松江市行財政改革」の取り組み結果
- 14 大腸がん検診を実施します
- 15 令和7年姉妹都市との交流の軌跡
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 中期財政見通しを策定しました
- 19 第47回まつえレディースハーフマラソンランナー・ボランティア募集／情報ひろば
- 25 でかけてごしないイベント情報～
- 27 日常も、通勤も、観光も。ラフに乗れる“チャリ”できました

今年も

上を向いて いこう

Vol.51



「新年明けましておめでとーいございます祝」

令和8年がスタートしました！
昨年・令和7年は、平成17年に1市7町村の合併によって**新松江市**が誕生してから**20周年**（3月31日）、**松江城天守が国宝指定**を受けてから**10周年**（7月8日）のアニバーサリー（記念の年）を迎えました。

そんな節目の年に、本市のPRキャラクター（ゆるキャラ）として「**おまっちえ**」が**デビュー**（3月26日デザイン決定・7月15日愛称決定・10月26日お披露目！）し、**LINEスタンプも登場**（11月26日）して、こどもたちを中心に人気と話題が沸騰しつつあります🔥

そして、松江を舞台にしたNHKの連続テレビ小説「**ばけけ**」の**放送**が始まり（9月29日）、松江城、宍道湖、八重垣神社、月照寺、しじみをはじめ、私たちに身近で唯一無二の地域資源が毎朝紹介され、全国から注目を集めています。

本市にとって令和7年は、過去を振り返り原点に帰する区切りの年であったと同時に、**未来に向かいギアを一段上げて新たな一歩を踏み出す「転機」**となりました。

いろんなところにお出かけして、たくさんしみじみしたいな～



そして、**令和8年**の干支は丙午（ひのえうま）。「情熱」「活力」「勢い」「行動力」を象徴し、「**挑戦**」に適した年と言われます。

例えば、**ラフカディオ・ハーン**が帰化を決断し、その後、日本国籍を取得して「**小泉八雲**」と改名してから今年で**130周年**。引き続き「**ばけけ**」の波にしっかりと乗りながら、八雲にあやかって新たな挑戦を重ね、本市の魅力や価値の創造とその積極的な発信に努めてまいります。

令和8年が、本市にとって活力に満ちあふれた勢いのある「**チャレンジの年**」となるよう励んでまいりますので、市民のみなさんには、**引き続きお力添えをよろしくお願いします**🌱

町自連だより 原子力発電所とともに

鹿島自治連合会 青山 豪太郎
あおやま げうたろう

鹿島町内の自治会では毎年何らかの形で原子力防災訓練に参加しています。令和6年は自家用車による広域避難訓練として大田市へ実際に避難する訓練に参加しました。今年度は災害時避難行動要支援者に対する支援内容の確認を含む訓練が実施されました。

自治会の役員として、何度も訓練に参加している私は、自らの役割などは理解しているつもりですが、訓練に参加したことのない住民の方に、災害が発生した際にどのように行動していただくのか、うまく避難していただけるのか自信は持てません。

やはり、訓練を積み重ねる事が重要ですが、繰り返すだけでなく、訓練内容も実際に想定される内容に即して行い、かつ訓練対象も広げていかないといけないと感じています。

今後市当局と相談して実のある訓練としていき、万が一に備えたいと思います。



（避難訓練のようす）



食べごろ松江

Vol. 14

甘みと酸味のハーモニー いちご

「まつえ旬もの食べてほしい」



艶やかな赤い色にさわやかな香り、口を含めば甘酸っぱくて果汁もたっぷり。そんな魅力にあふれたいちごは多くの人に親しまれています。

県内のいちご生産は安来市が盛んですが、本市でも行われており、主に「紅ほっぺ」という品種を生産しています。この品種名は、果皮の色が鮮やかな紅色で美しく、果心部まで赤いこと、ほっぺが落ちるほどのコクのある食味であることに由来しています。よく熟したいちごは香りも豊かです。本市で生産したいちごは、12月下旬から5月上旬くらいまでが出荷の時期となっており、生食のほか、市内の洋菓子店やカフェにも提供されているため、ケーキやいちごミルクなどとしても味わうことができます。

本市のいちご生産は、令和5年に設立された「松江いちご部会」の4人の会員を中心に行われており、いちごの生産振興や、栽培技術の向上、新規就農者の支援などに取り組んでいます。将来的には、

いちごの生産者を増やし生産量を拡大することや、生産されたいちごの認知度を高め、「松江いちご」ブランドの確立をめざしています。

出荷の時期になると市内の産地直売所やスーパーに多くのいちごが並びます。おいしいいちごの選び方としては、全体が赤く色づき、張り艶があるものが良いです。先端から熟していくため、ヘタ側から先端に向かって食べると、最後に一番の甘みを感じることができます。鮮度も重要なので、なるべく早く食べることをおすすめします。

日本のいちごは、品種改良が進められ、果実が白いものや、一粒が100グラムを超えるものなど、新品种が誕生しています。店頭にはさまざまな品種があり、どれにしようかと悩まれることもあると思いますが、本市で生産されたいちごを見つけた際には、ぜひ一度手に取ってみてください。



栽培中のハウス内



いちごの花と果実



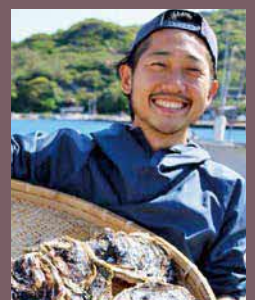
松江のいちご

【この記事に関する問い合わせ】 農政課 ☎55-5232

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人をご紹介します！

Vol.24



ながみ てるあき
永見 輝晃

静岡県出身。2020年に家族で松江市島根町野井へ移住し、(株)永幸丸を立ち上げる。その後、認定ジオガイドの資格を取得し、島根町の魅力あふれる自然を紹介する。

島根町野井の朝は、水平線からにじみ柔らかな光が海面を照らし、息をのむほどの美しい瞬間から始まります。

私はこの景色を見るたび、人生の時間軸を「前倒し」にしたことを嬉しく感じます。

関東圏で生活をしていた頃から、いつか自然の中で暮らすための移住をしたいと考えており、コロナ禍で世の中が変わっていく中、「ならば今だ」と家族で決断をしました。その後、1週間の弾丸旅で日本各地を巡り、家族全員一致で心が揺さぶられたのは、ここ島根県でした。

当時、特別に海が好きだったわけでもなく、泳ぐことさえできなかった私が、野井に住み始めたきっかけは、野井の海での定置網漁の仕事を紹介されたことにあります。以降は、知れば知るほど好きになる野井の自然に魅了され、この自然を多くの方に知ってもらいたいという想いからフルスツアラーや漁業、宿泊や飲食店を運営する会社を立ち上げました。

認定ジオガイドの資格を取得した経緯は、正直なところ単に誘いを受けた程度でした。

が、今では私にしかできないガイドがあると思っています。それは、漁業を通して得た経験を生かして、「漁業」×「ジオ」という観点でジオパークを案内することができるところです。岩壁や地層を解説する中で、その地形が海の環境を作り、その海が魚や貝を育て、そして私たちが恩恵を受けているという一つの物語があることを、実際に野井の海での漁業体験を通して伝えていきます。

野井は大きなまちではありません。しかしここには、人が自然とともにある感覚を取り戻せる力があります。今後さらに、移り住む人、訪れる人が増える未来を願いながら、私はこれからも唯一無二の朝陽が昇る町・島根町野井で、皆様を元氣いっぱいお待ちしております！



【この記事に関する問い合わせ】 文化振興課 ☎55-5517 ※株式会社永幸丸 ☎080-6379-9324 住所：島根町野井678-4



令和6年度健康まつえ21推進隊全体会の様子



玉湯地区健康ウォーキングの様子



健康まつえ21推進隊PRチラシ

一緒に
健康になろう

松江市の健康づくりのため、「健康まつえ21推進隊」は平成20年度にモデル事業として7つの地域でスタートしました。この事業は更に発展し、平成24年度には、この推進隊が市内29地域全ての公民館で結成されました。さらに、29の推進隊を地域別の5ブロックに編成し、ブロック会議、ブロック代表者による幹事会、さらには推進隊員全員を対象とした全体会を開催し交流を深めています。各推進隊では、健康診断の受診率向上を推進する活

動や、健康講座、食生活改善講座の開催、ウォーキング大会など、ブロックや推進隊同士で情報交換をしながら賑やかに活動を行っています。平成31年には、くびきメッセにおいて全体会を開催し、当時、健康づくりの先進地であった長野県小諸市から講師を招いて、先進事例を学びました。

こうしたさまざまな活動を、私たちは松江市全域で展開しています。活動内容は、毎年活動報告集にまとめ、平成28年度から、毎年市長に面会し、活動の報告を行っています。これからも、「健康都市まつえ」宣言や、「健康まつえ21基本計画」の基本理念「みんなで支え合い健康寿命をのばそう」を活動の中心に位置づけ、健康まつえ21推進隊は「無理なく、安心して、楽しく、活動できる推進隊」として活動します。また、地域の他団体との連携を更に深めて健康づくり活動を行い、「健康で、住みよい町づくり」に向けて、一緒になって進めて行きたいと思っています。

健康まつえ21推進隊代表

勝部 廣三
かつべ ひろみ

健康まつえ21推進隊活動

まちをよくする
マイルレポート

新情報
松江市PRキャラクター

おまっちえ

おまっちえについて
詳しくはこちらから



〈市HP〉

フォロー
まっちえるね

公式X配信中！

おまっちえのほのぼの
とした日常を配信中！
かわいいおまっちえの姿を
覗きにきてね♪



〈おまっちえ公式X〉

LINEスタンプ販売中！

こんなスタンプがあるよ／



全部で16種類

■販売価格

LINE STORE (WEB) : 120円

スタンプショップ (LINEアプリ内) : 50コイン

■購入方法

LINE STORE/スタンプショップ



おまっちえ

で検索

または
こちらから



〈LINE STORE〉

日常使いしやすい
スタンプが
盛りだくさん！

広報課 ☎55-5125